



平成29年8月9日

各 位

会 社 名 株式会社メディアフラッグ
代 表 者 代表取締役社長 福井 康夫
(コード番号：6067 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役副社長 寒河江 清人
(TEL. 03-5464-8321)

第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年2月14日に公表いたしました第2四半期連結累計期間（平成29年1月1日～平成29年6月30日）及び平成29年12月期通期（平成29年1月1日～平成29年12月31日）連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想の修正

①平成29年12月期第2四半期連結（累計）業績予想の修正（平成29年1月1日～平成29年6月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
					円 銭
前回発表予想 (A)	3,500	140	120	70	15.11
今回修正予想 (B)	3,153	63	49	163	33.61
増減額 (B-A)	△346	△76	△70	93	
増減率 (%)	△9.9	△54.6	△58.3	134.1	
(参考) 前期第2四半期実績 (平成28年12月期第2四半期)	3,478	130	112	111	24.24

②平成29年12月期通期連結業績予想の修正（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想 (A)	7,500	350	300	200	43.17
今回修正予想 (B)	6,000	250	230	500	102.34
増減額 (B-A)	△1,500	△100	△70	300	
増減率 (%)	△20.0	△28.5	△23.3	150.0	
(参考) 前期実績 (平成28年12月期)	6,990	308	254	198	43.13

2. 業績予想修正の理由

まず当第2四半期連結累計期間につきまして、セールス&プロモーション事業及びリサーチ&コンサル事業においてクライアント側の予算確保要因等で大型案件の継続受注状況が鈍化しており、こちらが売上減・営業利益減・経常利益減の要因となっております。なお事業再生事業における千歳烏山店の立ち退きに伴う営業補償金の取得(134百万円の特別利益計上)の影響により、四半期純利益は大幅増となりました。

このような状況を踏まえて期初より新規営業活動にも注力しており、セールス&プロモーション事業及びリサーチ&コンサル事業の上期の受注動向を踏まえると、下期は計画通り順調に推移する見込みです。

また、通期業績予想につきましては、当初の計画に対し、売上高が1,500百万円の減少、営業利益が100百万円の減少、経常利益が70百万円の減少、当期純利益が300百万円の増加となる見通しです。主な要因といたしましては、上記で説明した上期の修正理由に加え、事業再生事業において株式会社十勝たちばなの全株式譲渡(契約締結日:平成29年7月31日、実行日:平成29年8月9日)により第3四半期以降は株式会社十勝たちばなの業績が通期連結業績に反映されないため、当初の計画に対し売上高1,154百万円の減少、営業利益24百万円の減少、株式の譲渡益の計上により当期純利益が153百万円の増加の見通しとなっております。なお、大型案件の継続受注状況は、上記のとおり回復傾向にあるため、セールス&プロモーション事業及びリサーチ&コンサル事業については、当初計画どおりの収益計上を見込んでおります。

(注) 今期期初よりセグメント名称を旧営業支援事業はセールス&プロモーション事業、旧流通支援事業はリサーチ&コンサル事業と変更しております。但し各事業内容については、以前より変更ありません。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績などは、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上